

# INTEGRATED REPORTING <IR>

## IIRC ニュースレター：2018年9月号

### 新たな戦略フェーズへの 出発を告げるライブ放送に ご参加ください

統合報告のグローバルな展開に弾み(モメンタム)をつけるため、IIRCの次なる戦略フェーズに向け、**2018年10月4日の中央ヨーロッパの夏時間8時半**よりオンエア予定のライブ放送をご視聴ください。

新たな戦略段階である「**モメンタム・フェーズ**」には、コーポレートガバナンス改革の一環として統合思考を推し進め、企業報告システムの整合性を促し、米・中両大国における統合思考の採用を加速させることが含まれます。

IIRC 理事会に先行するこのパリ発のライブ放送では、下記の出演者によるトークセッションを視聴できます：

- IIRC チェアマン：Barry Melancon
- IIRC 理事会の副チェアマン：Peter Bakker
- IIRC ガバナンスおよび指名委員会委員長：Jane Diplock
- IIRC CEO：Richard Howitt

同セッションは、IIRCのウェブサイト上でストリーミングされますが、統合報告がグローバルに採用されている様子や、この「モメンタム・フェーズ」を通じ、グローバルな統合報告採用に向け、今こそIIRCが次なるステップに踏み出すべき時期である理



Bob Laux  
(北米 IIRC リーダー)  
が語る統合報告を  
通じた長期的な  
価値創造

Charles Wookey  
(A Blueprint for  
Better Business社  
CEO)

「投資家たちが  
『目的』にこだわる  
理由  
(Why do investors  
want to talk about  
purpose?)」

由について詳細を知る絶好の機会であり、IIRC のリーダーたちから世界の企業報告の将来のあるべき姿について話を聞く最大のチャンスです。

統合報告に向けたこのエキサイティングな新たな一步として、2018 年 10 月 4 日の中央ヨーロッパ夏時間 8 時 30 分より、[www.integratedreporting.org/global-momentum-phase](http://www.integratedreporting.org/global-momentum-phase) にご参加ください。

## 「統合報告へ、 『ブレイクスルー』の瞬間」： IIRC が年次統合報告書を発行

IIRC の 2017 年統合報告書には、世界中の企業に採用されるようになった統合報告への広範な支持を示す一連の「ブレイクスルー」の瞬間が列挙されている。

IIRC は現在、統合報告のグローバルな採択に向けた「画期的なフェーズ」にあり、報告書におけるブレイクスルーの瞬間を特定することにより、同評議会が統合報告開発における新たな戦略的フェーズに移行する準備を行っていることを示している。

同報告書が特定しているブレイクスルーの瞬間には以下が含まれる。

- 自主的な採択が奨励されている多くのコーポレート・ガバナンス・コードを用い、これまで、南アフリカ、日本、マレーシアなどを含む世界各国 16 の規制当局が統合報告を推奨、もしくは統合報告への準拠に向け活動を始めている。
- 統合報告への目覚めから実践に移行していく企業を明示するグローバルフィードバックの訓練を通じた市場フィードバック
- IIRC の長期的価値創造という目標に沿う投資の意思決定を表明するステートメントに署名する世界中の投資家
- 統合報告を通じ、国連の「持続可能な開発目標」に企業がどのように取り組むことが可能かを示す新たな青写真の作成
- 米国初となる統合報告の作成者ネットワークを創設 - 「米

柳 良平博士  
(株式会社エーザイ  
CFO  
早稲田大学  
客員教授)  
「統合報告の価値提案および価格表比率モデル～日本における実証例  
(Value proposition of integrated reporting and the price-book ratio model: Evidence from Japan)」

Sallie Pilot  
(Black Sun  
チーフ・インサイト  
およびエンゲージ  
メント・オフィサー)  
「英国の報告慣行の変化と  
長期的価値創造への  
焦点の必要性  
(The changing face of UK reporting and the need to focus on long-term value creation)」

国統合報告コミュニティ」

- 国際会計基準審議会 (IASB) チェアマンによる、「国際統合報告フレームワーク」が IASB 独自の概念フレームワークと互換性がある旨のステートメント
- 気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の勧告を支持する共通のポジションに対し、主要な財務的および非財務的フレームワークの適用を含め、「企業報告ダイアログ」を開催すること
- 「統合報告こそ企業報告の未来」とする国際会計士連盟からの明確な立場の表明。

KPMG では、統合報告を自主的に採択する国が 64 カ国まで拡大したことにより、統合報告書の採用は 2015 年時点から 27%増加したと報告している。

Richard Howitt は以下のようにコメントしている。

「単独の事象ではなく、ブレイクスルーの一連の事象を列挙することは、統合思考と統合報告が驚異的な進歩を遂げていることの背景にある否定し難い理由となっている、相互に接続し合っている複雑な事業環境に適合しています。」

「2017 年統合報告書が示すように、本年は、統合報告がブレイクスルーすることで世界中のレポート市場にて主流化するのを目撃する年になります。」

「世界中で企業報告システム全体を変えることはすなわち、積年にわたり多くの人々を巻き込んできた画期的な変革に他なりません。しかし、今日私たちが目にしている証拠とは、IIRC が未来のニーズを先取りする企業を準備していることと同義なのです。」

IIRC はスリランカに本社のある企業報告制作代理店 Smart Media と共同で、初めてインタラクティブにオンライン上の HTML 版アニュアルレポートとモバイル機器向けエグゼクティブサマリーを含む、2017 年統合報告書を開発しました。

Smart Media の会長、Vijith Kannangara 氏は、次のように述べています。「報告書の作成者はしばしば、ニーズに合うよう簡潔かつ完全に記載しつつストーリーを語る方法を探しています。この明らかな矛盾を解消するための解答は、ステークホ

Wendy  
McGuinness  
(McGuinness  
Institute  
チーフエグゼクティブ)  
「マクギネス  
研究所発行による  
ニュージーランドの  
報告に関する  
新たな研究  
(New Research  
on Reporting  
in New Zealand  
published by  
the McGuinness  
Institute)」

Matthias Schmidt  
(IDW)  
「企業報告の未来  
(The Future  
of Corporate  
Reporting)」

Jyoti Banerjee  
(IIRC 戦略  
アドバイザー)  
「視点の転換—  
大学が価値を  
生み出す方法  
(A shift in  
perspective –  
how universities  
create value)」

ルダーの皆さんに、オンライン上での HTML 配信と、印刷物、モバイルやビデオなどの複数媒体を組み合わせ、お好みのチャネルを選べるような方法で情報を提供することです。IIRC の 2017 年統合報告書が実践したのは、まさにそのような方法でした。」



今すぐご覧ください。  
最新統合報告書を公開する IIRC の CEO、Richard Howitt

Jonathan Labrey  
(IIRC チーフ戦略  
オフィサー)  
「高等教育は  
いかにして価値を創  
造し示せるか?  
(How does  
higher education  
create and  
demonstrate  
value?)」

## 採択にあたり、統合報告の メリットを明確に示す 新たな学術データベース

統合報告採択にともない期待されるポジティブな効果にスポットを当て、統合報告のベストプラクティス例に対する論評などを掲載している 200 項目を超える学術研究を集大成した『「統合報告」学術データベース』が新たに立ち上げられた。

同データベースには、統合報告が採用企業の株式流動性の向上や、業績の改善、市場価値の向上、および長期的な投資家基盤の構築につながる、と結論づけている研究も含まれている。自由に利用可能なリソースである同データベースには、[www.iracademicdatabase.org](http://www.iracademicdatabase.org) からアクセスできます。

IIRC の CEO、Richard Howitt は、ワシントン DC で開催さ

れた米国会計士協会の年次総会における同データベースの立ち上げにあたって以下のように述べた。「5年前に統合報告フレームワークを世界に紹介してから私たちが目にしてきたことは、驚異的の一言に尽きます。このデータベースには、私が長い間確信してきたことを裏づける証拠が示されています。統合報告は、私たちの株式市場に財務の安定性と持続可能な成長を浸透させるのに役立つのです。」

「統合報告への移行をまだ始めている企業のリーダーの皆さんや、資本配分の意思決定を支えてくれる統合報告書を日常的に活用していない投資家の皆さんには、このデータベースをご覧になるよう強くお勧めします。」

「200項目を超える研究の結果、企業は自社の価値創造の全体像をステークホルダーに伝達することの必要性をもちや無視できなくなりました。統合報告の作成は、私たちの株式市場や社会、環境に向けた正しい行いであるばかりでなく、皆さんのビジネスそのものにとって正しいことなのです。」

世界に波及する統合報告の影響に関する最も包括的な学術調査の集大成である同データベースは、将来の統合報告に関する学術研究の焦点となり、IIRCのグローバルな「統合報告学術ネットワーク」を補完する今後のさらなる研究のチャンスともなる。

IIRCは、同データベースの開発にご協力くださったイタリアの通信機関 Mercurio GP に、謝意を表します。

## **ボツワナで 統合報告を開始した アフリカ統合報告委員会**

遵守または説明の基準で統合報告がボツワナ証券取引所の上場要件となった。ボツワナ統合報告委員会は、こうした新たなアプローチが市場に意識され、理解され、そして組み込まれるようになるよう取り組みを行っている。





2018年8月に新たに発足した「ボツワナ統合報告委員会」

同委員会は、ボツワナ証券取引所、ボツワナ公認会計士協会、ボツワナ会計監査局を含む、アフリカ統合報告委員会のメンバーたちにより構成されている。複数のステークホルダー委員会も、ボツワナにおける統合的思考と統合報告の普及を支援している。

ボツワナ証券取引所の CEO、Thapelo Tsheole 氏は、「BSE 株式リストの新要件により、企業は『適用または説明』ベースで作成された統合報告を採択することが必須となり、この新しいアプローチは規則が制定される前から牽引力を得ています。」

IIRC の CEO、Richard Howitt はこのニュースに触れ、以下のように語っている。「IIRC は、技術的なノウハウと統合報告の導入をご支援くださるパートナーの皆さんの国際的なご支持の広がりをお願いしています。ボツワナ統合報告委員会のメンバーの皆様には、こうした知識の構築と採用の促進についてご協力いただけたことに謝意を表します。統合報告が既に採用されている市場から私たちが学んでいるように、統合報告は市場におけるガバナンスや持続可能な開発と成長という面で、きわめて大きな利益をもたらすパワーを秘めています。」

# Social & Human Capital Coalition (社会・人的資本連合) と 提携を深める IIRC



IIRC は、社会・人的資本連合 (SHCC) のプロトコル、および「国際統合報告フレームワーク」を介して資本の測定・評価・報告の重要性を訴える共同ステートメントの発表を通じ、同連合と提携している。

両組織はこれまで相互のフレームワークを支持し合っており、自然資本連合 (Natural

Capital Coalition) のような相互パートナー関係を構築しつつ、今後ともポジティブな影響の増大を目指し、シナジー効果を求めて協働を継続していく。

社会・人的資本の評価は、「統合報告フレームワーク」による組織外部に向けた開示を直接的に支援し、資本市場が人材や地域社会、さまざまな関係性に投資を行っている企業を識別する助けとなり、こうした投資こそ長期的な価値創造の可能性を高めるものとなる。

こうしたアプローチはまた、組織が財務資本の提供者や幅広いステークホルダーたちと、事業の戦略・チャンスおよびリスクを簡潔かつ統合的な方法でコミュニケーションする上で役立つ。

2018 年 4 月に発足した SHCC は、方法論的アプローチの一貫性を促進することでこうした分野の発展に努めている多くの組織にとって、頼れるホームベースとなっている。

IIRC は諮問グループに加盟しており、プロトコルの開発に積極的に参画してきた。SHCC と IIRC の両組織は、企業と社会双方のために適切な意思決定を下すうえで欠かせない「統合報告フレームワーク」において、社会資本と人的資本と、その他の資本の統合に努めている。

## 三菱 UFJ 信託銀行、 投資機関として新たに統合報告 への支援を表明



三菱 UFJ 信託銀行は、IIRC の投資家ステートメントに署名した最新の投資機関となり、統合報告および資本配分における意思決定の重要性への支持を表明した。

同行が企業報告慣行をリードする進歩的な投資家グループに参加すること

とは、日本における統合報告への高い関心が継続していることを示すものである。

統合報告は日本の企業と投資家の間で選択的なコミュニケーション手法となりつつあり、現在、400 以上の企業が統合報告書の中で「統合報告フレームワーク」の原則を使用している。IIRC の投資家ステートメントへの署名をご希望の投資関連組織のご担当者はご連絡ください。



# IIRC は、 英国財務報告評議会の ガイダンス改訂により、 英国企業が統合報告に 一歩近づいたことを歓迎します

戦略報告書に関する英国財務報告評議会 (FRC) によるガイダンス改訂版について、国際統合報告評議会 (IIRC) は、情報の統合と明快かつ簡潔な価値基準の報告を促進していることを歓迎している。

同ガイダンスは、「FRC は (ガイダンスの) 策定において統合報告の進展に留意した」と述べ、さらにこう続けている。「『国際統合報告フレームワーク』とこの戦略報告書のガイダンスは、同様の質的特徴とコンテンツを促進している。」

IIRC のチーフ戦略オフィサー、Jonathan Labrey は、FRC の改訂ガイダンス発表について次のようにコメントしている。「英国では、時間をかけて価値創造を行う上で留意する幅広いリソースや関係性について思考し、コミュニケーションを行っていくうえで有益な『国際統合フレームワーク』を利用する企業は増加の一途をたどっています。戦略報告書と統合報告の一貫性を明確に認識することにより、英国の企業報告の未来に向けた一貫した道が拓けていくのです。」

彼はさらにこう続ける。「IIRC では、企業が価値創造のストーリーを初めて詳細に語ろうとする場合、統合報告に見られる諸資本の概念を使用するよう推奨しています。すなわち、人的、社会関係、知的、自然、製造、財務などのさまざまな資本を通じ、企業はビジネスモデルのインプット、アウトプットおよびそのアウトカムをコンテキストの中に組み込み、持続可能な開発を通じて将来に向けた価値創造に集中することが可能となるのです。」

世界中の国々はさまざまな障壁を取り除き、ますます統合報告の採択を奨励している。コーポレート・ガバナンス・コードや、

各国政府のレポート、証券取引所の推奨を通じ、統合報告は現在、世界 18 カ国で積極的に推進されており、65 カ国以上の企業が「国際統合報告フレームワーク」の原則を使用している。

企業報告のリーダーと認識されている組織として、IIRC は、広範な価値創造ドライバーや、長期的な戦略に関して株主と議論を行うことの重要性を認識した英国財務報告評議会を祝福する。

## 「『統合報告』学術ネットワーク」の監督機関

「『統合報告』学術ネットワーク」(<IR> Academic Network) は、監督機関の設置を発表した。同監督機関は、統合報告、統合思考、および広範な企業報告システム改革などの分野における継続的な研究・対話および議論の活性化を目指すコンソーシアムである。

同監督機関のメンバーは下記の通り：

- ディーキン大学 (オーストラリア)
- インド経営大学院バンガロール校 (インド)
- Pontifical Universidad Javeriana (コロンビア)
- オークランド大学 (ニュージーランド)
- フェラーラ大学 (イタリア)

## 将来に向けた保証性

国際監査・保証基準審議会(IAASB) は、信頼性を高めるために、統合報告を含む外部向け報告の新たな形式に関する一貫性のある適切な保証の開発に重点を置く一連のイベントを主催している。

IAASB は、将来に向けた保証性の確立を目指し、この件に関心をもつステークホルダーを、2018 年 10 月から 11 月にかけて世界中の都市で開催される世界的規模のディスカッションに招

待している。

IIRC では、統合報告書の中で提供される情報に対する信頼をユーザーに提供すべく、保証性能の強化に向けたこうしたプロセスにパートナーの皆様が積極的に参画して下さるよう奨励している。

詳細は、[IAASB ウェブサイト](#)から。



[Website](#)   [Twitter](#)   [LinkedIn](#)   [YouTube](#)

Contact: [juliet.markham@theiirc.org](mailto:juliet.markham@theiirc.org)

*Copyright © 2018 International Integrated Reporting Council, All rights reserved.*  
[unsubscribe from this list](#)   [update subscription preferences](#)  
[IIRC Privacy Policy](#)